

綱 領

われわれ JAYCEEは、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者相集い力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

JCI こんにちは!! JCです。

発行 社団法人三木青年会議所
三木市本町2-1-18
電話 三木(0794)82-8826
FAX 三木(0794)82-9409
編集 社団法人三木青年会議所
総務広報委員会
印刷 株前田精版印刷所

2007年度
スローガン

「思い出せ！武士道精神！ 誇り高き創始の精神を胸に」

～いま、行動する時～ ひとづくり・まちづくり



2007年度理事長
黒田 泰義

はじめに

本年度は、「思い出せ！武士道精神！誇り高き創始の精神を胸に」いま、行動する時、ひとづくり・まちづくりをスローガンに掲げました。

現在の社会で起こっている様々な問題は、日本人としての秩序の乱れ、精神的未熟さから起こるものが数多く見受けられます。そこには、利他の精神、思いやりの心といった心の豊かさなど感じられないものが多くあります。我々が目指す「明るい豊かな社会」においては、物質的な豊かさではなく心の豊かさが大切です。今、日本人に必要なのは道徳・礼節・謙虚さ・誠実さ・郷土愛といった日本古来の精神文化である「武士道の精神」を思い起こすこととあります。それらを兼ね備えたひとが一人でも多くいる社会こそ我々の理想とする「明るい豊かな社会」であると考える。武士道精神を兼ね備えたひとづくり、そしてまちづくりに力を注ぎ、様々な事業に取り組んで参りました。

「次代を担う組織進化」

公益法人制度と公益法人会計基準が抜本改正され、現行の公益法人制度が廃止されます。変革の能動者として、まず我々がその改正にいち早く取り組むことが使命であるの思いから、我々の組織の原点である創

始の精神に立ち返って、この組織がこれから何をなすべきか、この地域で果たすべき役割とは何かを考えました。これまでの活動を十分に検証し、それを踏まえた上で、これからの組織のあり方、公益法人制度改革を検討する報告書を作成する事が出来ました。

『武士道精神』……義・勇・仁・礼・誠

今年も経営者や企業が不祥事を起こす事件が多く見受けられました。そこには、経営者として、また企業としてのモラルの低下が著しく関わっているのではないかと思います。

経営者は、本来、品格を兼ね備え、企業は社会からの恩恵を様々な形で還元することで、地域社会と共存していくものです。その品格とは武士道の精神であり、それを兼ね備えることで、今の社会から求められる経営者に近づくことが出来ると思えました。これから経営者となる我々青年経済人が高潔で徳高い生き方が出来るように研修事業を開催致しました。

『郷土愛』……このまちに生まれて本当によかった

三木市と吉川町とが合併し2年になろうとしています。我々は、合併により郷土の歴史、伝統文化、自然そして産業と、多くの財産を得ることができましたが、互いのまちの魅力を本当に知っているでしょうか？私は疑問に思います。

地域の人が、これらの共有財産

を知り、そして深く触れることで郷土の素晴らしさを実感した時、三木市を愛するということである「郷土愛」が生まれ、育まれていくものだと思います。

地域の人が、素晴らしい郷土愛をこころに持つことが出来れば、その地域社会の中で育てられた子どもたちにも生まれ育った地域に誇りと愛情を持つことが出来ると思います。本年度は新しい三木市の魅力を感じてもらうために広く市民に魅力を募り、その魅力を永く共有するために三木郷土カルタを作成しました。「三木郷土カルタ」で大人から子供まで三木の魅力を感じて頂き、やがて大きく育まれた「郷土愛」は個性豊かなまちづくりへと繋がると確信します。

『会員拡大』

青年経済人の集まりである我々の団体に高い志を持った9名の新入会員が仲間に加りました。「明るい豊かな社会」の実現に向け自己研鑽を行い、友情・絆を深め、ひとづくり・まちづくりを新たな発想でこれからは取り組んで行きたいと思えます。最後になりますが、2年後には、創立50周年という大きな節目を迎えます。素晴らしい伝統を継承しながら我々の運動がひとを変え、まちを変えていくのだという気概を持って、「明るい豊かな社会」＝「日本一美しいまち三木」の実現に向け取り組んで参ります。

この一年間我々の活動に對しまして深いご理解とご支援、ご協力を賜りました多くの皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2007年度



三木工業材料 三宅真紀子 | 備ひまわり薬局 松岡 文二 | 株式会社永尾 永尾 真士 | シルクハット 田中 啓介 | 住本鉄工 住本 和幸 | 株式会社イプランニング 小野 裕之 | 株式会社オーニシ電機 大西 健司 | 株式会社コーポレーション 今井 猛詞 | 測量・登記のA'REX 足立 卓弥

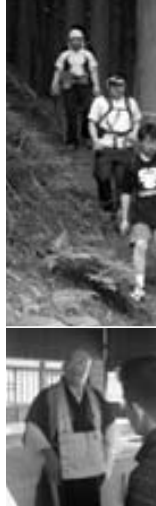
まちづくりに貢献できる様取り組んでまいります。社会人としてJCとして精一杯頑張ります。自分の成長を信じ、活動を行っていきま。JC活動を通し、地域を知らず活動出来ないよう努めます。様々な経験を積みスキルアップしていきたいです。右も左もわかりませんが一生懸命頑張ります。資質の向上と人の縁を大切にしていきます。少しでもまことに貢献できるように頑張ります。良き仲間とJCライフを満喫したいです。

委員会活動

～1年間の総括～

会員研修委員会

本年度、会員研修委員会では「仁と義、敵と勇」の揺らぐ事の無い原点を持ったひとつくりの為の事業、「感謝し、感謝されるひととなれ」を開催しました。この事業を通して、自らを見つめる機会を持ち、実社会においても信念を持って行動できるように取り組みました。また、自ら主張を明確に伝え、他者の意見を聞き取る能力の向上を行う為に毎月行われる例会の場で3分間スピーチに取り組みました。多くの人に助けられながら最後まで活動することが出来ました。本当に有難うございました。



総務広報委員会

本年度総務広報委員会は、温故知新の精神で次代を見据えた組織を考え公益法人制度改革と照らし合わせた報告書を作成しました。また、広報活動におきましては、広報誌とエフエムみいきいさんのホームページから青年会議所を知って頂きホームページで市民の皆様へ青年会議所の運動及び活動をより理解されるページ作りを行って参りました。1年間無事活動が出来ましたのは市民の皆様のご理解の賜ったと考えます。本当にありがとうございました。



郷土愛育成委員会



本年度郷土愛育成委員会は、子どもから大人までより多くの市民が、まちの魅力を思い起こし、それをみんなで共有することで「三木が好き」と思う心を育む取り組みを行いました。その為に先ず、市民の皆さまよりそれぞれのおもった三木の魅力を募り、集まった三木の魅力を、三木市役所と山田錦の館で展示を行い広く発信しました。更に、魅力に沿った絵を三木市内4高校の生徒に描いて頂き、誰もが楽しみながら繰り返し三木の魅力を感じられるよう、「三木郷土カルタ」の作成を行いました。このカルタを通じて、三木の魅力を改めて知り、三木に愛着を持つことで、三木の新たなまちづくりに繋がることを願っています。最後になりますが、ご協力頂きました皆様には、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



会員拡大委員会

会員拡大委員会は、我々が目指す「明るい豊かな社会の実現」に向け、共に活動できる仲間を多く募って参りました。そして、メンバー全員が一丸となり「人の縁」を大切に、真の友情を育むことが出来ました。この一年、共に活動し築いてきた「味のある人間関係」を大切に、我々の夢の実現に向け今後も一生懸命頑張って参ります。多くの市民の方々に青年会議所活動をご理解、ご協力を頂き本当に有難うございました。



会員交流委員会

本年度会員交流委員会は、真にわかりあえる一生涯の仲間づくりの活動を実践して参りました。年頭の新年賀会では、多くの来賓の皆様にご出席頂き、青年会議所運動に対する、より深い理解・賛同を頂戴しました。また、6月には姉妹JCである、台湾の中レキJCが主管するアジア太平洋会議(ASPAC)において、会員全員で大会を盛り上げました。大会期間中には、中レキ市役所を訪問し、市長自らの盛大な歓迎を受け、地域のまちづくりや教育活動についてご教授頂きました。また、地元有力の先端技術企業を見学し、企業人として更にモチベーションが高まりました。1年間の活動を終えるにあたり、市民の皆様の様々なご支援に心から深く感謝申し上げます。

